

連携事例 2

東和アークス株式会社



連携企業数	6社
業種	建設資材の製造・卸業
連携の類型	サプライチェーンにおける垂直的な連携

概要

連携体の概要を教えてください

当該連携は、建設資材の製造販売に関わる合計7事業者による連携で、連携企業はお互いの所在地域や製品の需要がある企業に対する建設資材の供給において、重要な役割を担っています。

連携体を構成する各事業者が事業を停止すると、地域産業や建設業界の事業に支障をきたすこととなります。

きっかけ

連携事業継続力強化計画を策定したきっかけを教えてください

自然災害等が発生した場合は、東和アークス株式会社をトップとする連携企業体が、インフラ復旧の為に建設資材の供給を安定的に継続する必要があることから、連携企業が相互一体となって事業継続力強化に取り組む計画の策定が急務と考えていました。

態様・特徴

態様と特徴を教えてください

(サプライチェーンにおける垂直的な連携)

建設資材の製造や販売のサプライチェーンを担う事業者が集まった連携です。参加事業者は、関東各地域に点在しており、中核親事業者である東和アークス株式会社を中心とした製造・販売網として需給関係で連携しています。

苦労

計画策定で苦労したこと、その解決策を教えてください

- ・ 停電の発生に備えて、太陽光発電等蓄電機能の増設を検討しました。
- ・ 災害発生時の特殊車両の保護・補充は、連携企業間で相互融通が可能な計画を策定しました。
- ・ 拠点災害を想定し、特にセメント・骨材等生コン原料の相互融通を計画しました。
- ・ 連携事業者間で、有事の際に優先して復旧すべき製品・サービス・施設・エリアを予め特定しました。

連携体内外の変化

連携事業継続力強化計画を策定したことで連携体内外で変化したこと

- ・ グループ内会社の被災事業者から応援要請があった場合には、復旧に必要な情報提供や人員の派遣を行うように取り決めています。

- ・ 復旧支援を円滑に行うため、連携事業者間で従業員の人的交流会等を実施しています。
- ・ これらの取組を通じて、災害発生時の対応方法について、担当者間で調整できる体制を構築しています。

期待効果

連携事業継続力強化計画を策定したことで期待される効果

被災した連携事業者の復旧を支援するため、被災していない連携事業者は、必要に応じて復旧支援のための人員や機材を提供することなどの役割分担を東和アークス株式会社中心に予め定めることとしています。

進 捗

策定した連携事業継続力強化計画の進捗を教えてください

- ・ 連携事業者間における協力体制については、平時からのグループ役員会議を災害時対応会議に代用することとしました。大規模災害発生時やあらかじめ定めた基準で感染者が事務所の所在するエリア内に発生した場合などに、当該会議を開催することとしています。
- ・ 設備、機器及び装置や衛生用品等を共同購入する場合は、東和アークス株式会社が主に管理を行う体制としました。
- ・ 重要情報（例えば製品規格等）については、各社でどの様にバックアップを取っているかのノウハウを共有するとともに、有事の際の代替生産や供給の際に活用できるようにしています。

感 想

連携事業継続力強化計画を策定した感想を教えてください。

- ・ 連携企業間での連絡、協力体制及び交流がより密になりました。

お 薦 め

計画の策定を他の連携体に進めるとしたら

- ・ 計画を策定することにより、連携企業各社の危機意識が高まるようになります。

紹介者からの一言

連携した機関からのメッセージ

【担当アドバイザー】

最初に代表企業様単体でのご支援を行ったところ、グループ企業全体での危機管理が必要となり、グループ全体での事業継続力強化計画の策定をサポートさせていただきました。

手引きの事例集を活用しながら、これまでに対応してきた危機対策の現状を確認し、より具体的な事業継続力強化計画の策定ができるようになりました。

